

## □最近の活動状況

### 【第23回朝食懇談会】

— 3月6日(水)ザ・セレクトン福島 —

講師 公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構  
専務理事兼事務局長 伊藤 泰夫 氏

テーマ 「福島イノベーション・コースト構想について」

参加会員数 58名

## ○福島イノベーション・コースト構想の概要

福島イノベーション・コースト構想(以下、イノベ構想)は、東日本大震災と原子力災害によって失われた浜通り地域等15市町村の産業基盤の再構築を目指す国家プロジェクトです。復興に不可欠な廃炉の推進を始め、ロボット、エネルギー、農林水産等の分野におけるプロジェクトの具体化を進めています。当機構は、イノベ構想を推進していく機関として、産業集積、教育・人材育成、交流人口の拡大、情報の発信等の活動をしています。



講師 伊藤泰夫 氏

## ○主な拠点・プロジェクトについて

廃炉に関する基盤技術を確立するため、日本原子力研究開発機構(JAEA)が①楡葉遠隔技術開発センター、②廃炉国際共同研究センター、③大熊分析・研究センターを整備しています。これらの研究開発拠点では、長期にわたる廃炉を支えるため国内外の英知を結集した研究と人材育成が進められており、これらの拠点から生み出された成果が浜通り地域等の産業復興へ波及していくと期待されています。

ロボット分野では、物流やインフラ点検、大規模災害などに対応する陸・海・空のロボットの研究開発や操縦訓練等を行うための、世界に類を見ない一大研究開発拠点である「福島ロボットテストフィールド」を南相馬市および浪江町に整備中です。2019年度末の全面開所に先駆けて一部運用を開始しており活用事例が44例あります。開所後は、JAEA楡葉遠隔技術開発センターとの連携の下、補完しあいながら利用者のニーズに対応していきます。

2016年9月、未来の新エネルギー社会実現に向けたモデルを福島で創出することを目指した「福島新エ

ネ社会構想」が策定されました。エネルギー分野はこの取り組みと連携し、水素社会のモデル構築、スマートコミュニティの構築、再生可能エネルギーの導入拡大等のプロジェクトを推進しています。

## ○地元企業との連携について

当機構では、産業集積を促進するため2016～2018年度「地域復興実用化開発等促進事業費補助金」に採択された企業を訪問し、個々の事業者が抱えている課題に応じて具体的なアドバイスをを行う事業化支援を実施しています。また、浜通り地域等において新規立地や研究開発等を実施・計画している企業と地元企業とのビジネスマッチングの機会を創出するためのイベントも開催しています。新たに2019年度から廃炉関連産業において地元企業の参入を促進するマッチングスキームの事業化可能性調査を行う予定です。

## ○教育・人材育成について

イノベ構想の実現に向けては、構想を担う高度な人材の長期的な教育・育成を進めていくことが不可欠で

す。全国の大学等が有する本県の復興に資する知を浜通り地域等に誘致・集積するため、市町村と協定を締結、拠点を置いて教育研究活動を行う大学等を支援する取り組みを実施しています。また、高等学校では、地域企業や研究機関・大学と連携した実践的な教育プログラムを開発し実践しています。

## ○最後に

当機構から、イノベ構想の認知度向上と、復興に向けて当該地域でのプレーヤーとしての参加、そしてイノベーションが起り続ける地を目指してチャレンジしやすい環境整備を進めていくのでご協力をお願いします。ご清聴ありがとうございました。

(文責：事務局)



会場風景

## 【第32回全国経済同友会セミナー】

— 4月11日(木)～12日(金)新潟市 —

全国経済同友会セミナーが4月11日と12日の2日間、新潟市にて開催されました。今年の総合テーマは「新時代へのイノベーション～ポスト平成の成長戦略を描く～」と題し、全国の経済同友会から約1,300名の会員・関係者が参加、当会からは高橋代表幹事、阿部代表幹事を始め8名が出席しました。

初日は、開会挨拶の後、ピクシーダストテクノロジー(株)代表取締役CEOの落合陽一氏の基調講演に続き、分科会が行われ「超スマート社会がもたらす恩恵」「新時代のサステナブルマネジメント」「日本教育のパラダイムチェンジ」「モノ・コト・ヒトの交流が生み出



オープニングセレモニー

すイノベーション」の4つのテーマに分かれて意見を交わしました。

2日目は、分科会報告の後、小林喜光経済同友会代表幹事が総括挨拶をされました。その後、金工作家で文化庁長官の宮田亮平氏による特別講演が行われました。

来年の全国経済同友会セミナーは4月16日から17日の2日間、高知県土佐市で開催予定です。全国の同友会メンバーと交流する絶好の機会ですのでぜひ多くの会員のご参加をお願いします。



落合陽一氏

【北海道経済同友会創立70周年記念式典】

— 6月10日(月)札幌パークホテル —

札幌市にて北海道経済同友会創立70周年記念式典が開かれ、北海道経済同友会の渡辺卓代表幹事（HBC北海道放送・会長）が「世界と関わりながら経済の活性化に貢献したい」と挨拶されました。道内外から約230人が出席しました。当会からは高橋代表幹事、阿部代表幹事が出席しました。



北海道経済同友会取り組み発表の様子

□事務局だより

○2019年3月から6月に入会・変更のありました会員を紹介します。（敬称略）

新規入会		2019年3月入会 うちいけ しょう 内池 崇 内池醸造(株) 代表取締役社長		2019年3月入会 たんご たろう 反後 太郎 (株)クリーンテック 代表取締役
		2019年4月交代 やまき けいち 八巻 恵一 佐藤工業(株) 代表取締役社長		2019年4月交代 おおしま かつとし 大島 勝利 三井住友海上火災保険(株) 福島支店長
会員交代		2019年4月交代 まちだ いくお 町田 郁夫 (株)商工組合中央金庫福島支店 支店長		2019年4月交代 うい てつ 宇井 哲 富士通(株) 福島支社長
		2019年4月交代 すずき じゅん 鈴木 淳 オリックス(株) 郡山支店長		2019年5月交代 くわはら こうじ 桑原 浩二 (株)大東銀行福島支店 支店長
		2019年6月交代 はた としゆき 畠 利行 福島県信用保証協会 会長		

引き続き会員増強にご協力をお願い申し上げます。(2019年6月21日現在 会員数100名)

編集日誌

- ◇「令和最初」の会報です。昭和生まれなので3つの時代をまたいでしまいました。
- ◇子どもの頃から比べて随分と変わってしまった福島駅周辺。現在、東口再開発の計画が進んでおり、数年後には更に変貌を遂げることと思います。
- ◇時代とともに街並みは変わっても、温もりある街を醸し出す人の良さは変わらずに持ち続けたいですね。(今野)

## □会員企業紹介 【第23回 株式会社杜設計】

今回は当会の幹事を務めていただいている、株式会社杜設計の鈴木社長にインタビューしました。業務が多様化する中、「無」から「有」を生み出す「建築」の仕事において必要とされることなど、様々なお話を伺うことができました。

### ○創業の経緯

1973年、前代表が(株)杜建築事務所として開設した建築士事務所です。福島市須川町にある岳陽中学校の前で創業し、その後、野田町に事務所を移転、1994年に現在の東中央に社屋を建築しています。1997年に社名を(株)杜設計に改称しました。



鈴木宏幸 代表取締役

建築設計事務所として、公共施設から民間施設まで、多様な建築の計画・設計・工事監理を行っています。さらに、建築工事費の積算・見積り及び建築許可申請、建築物の省エネルギー計算、完成予想図及び建築模型の作成等の業務も行っています。

### ○社名の由来

「鈴木」と名が付く事務所は、他にも多数存在することから、「鈴木」が付かない社名を周囲の専門家に相談したところ「杜」という字を提案されました。「杜」は「木」と「土」を組み合わせた、それぞれ建築に関わりの深い「字」であり、「鎮守の杜」といわれるように神秘的かつ厳かな環境をイメージできる「字」であることから、杜建築事務所と称することになりました。

### ○基本理念

地域に根差した建築家として「地域の営みを大切に」を基本理念に掲げ、地域の建築の「まち医者」的な必要とされる存在を目指し、オフィス、工場、商業施設、児童福祉施設、高齢者福祉施設、学校施設、住宅などの建築計画及び設計のお手伝いをしています。

また、「地域の皆様との対話」と「地域づくりへの参加」を大切に考え、様々な社会活動にも積極的に参加し、そこで学んだ感性や人とのつながりを大切にするとともに、「建築士としての職能を通じて社会に貢献する」という基本姿勢を持ち続けながら、皆様のお役に立てる仕事を行って参りたいと考えています。

### ○建築設計は「サービス業」

私たちの仕事は、「建築をつくる」という「ものづくり」に関わる仕事であると同時に、建築基準法やその他関係法令に対応させながら施主とともに建築を創造し、具現化させるためのコンサルタントを行う「サービス業」であります。そして、施主満足度を高めるために大切なことは、施主の希望や意図を引き出すコミュニケーション能力と機能性、デザイン性、環境性、省エネ、建築コスト、維持管理など、多岐にわたる建築環境に係わる提案力にあります。よって、施主の方々には建築に係わる多様な要素を理解していただき、建築イメージを膨らませることができる積極的な提案とプレゼンテーションの充実に努めています。

### ○次の世代へつなぐために

おかげさまで昨年10月に創立45周年を迎えることができました。これも偏に、弊社をご活用いただいた地域の皆様のお陰であります。これからも謙虚な姿勢を心掛け、皆様からご評価いただける建築と地域に根差したより良い建築を一つ一つ丁寧に作り上げ、そこから得た経験やノウハウをさらに活かし、次世代に繋がる建築の創造と地域づくりに貢献できるよう取り組んで参ります。



住 所 〒960-8071  
福島市東中央2-3-8  
創 立 昭和48年10月12日  
T E L 024-535-3361  
U R L <http://mori-sekkei.com/>